

上田城南地域協議会会議録

日時 平成 19年 2月 19日(月) 午前 10時から 11時 50分

場所 上田市城南公民館 2階大ホール

出席委員 石井委員、石黒委員、石坂委員、井出委員、岡部委員、掛川委員、木内委員、竹内順一委員、竹内秀夫委員、竹田委員、田中明委員、田中千寿子委員、中島委員、中村委員、西川朋子委員、西川善和委員、宮崎委員

市側出席者 中沢商工課長、西川農林課長
原沢自治振興課長、小宮山自治振興課課長補佐、柳沢主査

1 開会(原沢自治振興課長)

2 会長あいさつ(田中会長)

総合計画の地域まちづくり方針については、皆様に熱心にご議論をいただき策定することができた。

2月9日市長へ答申したところである。市長から答申書を総合計画審議会へ送付する際には、地域まちづくり方針を最大限尊重し、全体計画の策定を進めていくとの力強いあいさつをいただいた。私からは、地域づくり活動拠点の城南公民館については、是非地域の願望を受け入れてほしい旨をお伝えしたところである。

本日は今後の活動について皆様のご意見をいただきたいと思っている。よろしく願いしたい。

3 会議事項

(1) 報告事項

ア 合併協定書(合併協定項目)の合意事項の変更について

(田中会長)

合併協定書の合意事項の変更について事務局から説明をお願いします。

(原沢自治振興課長)

上田市地域自治センター条例第7条第1項及び同規則第3条に基づき、合併協定書の合意事項の変更について、商工課長と農林課長から報告がありますのでよろしくお願い致します。

資料 1-1 合併協定書記載項目

資料 1-2 合併協定書(合併協定項目)の合意事項の変更について

中沢商工課長、西川農林課長から説明

【変更内容】

商工関係

商工会議所、商工会補助金

協定書記載事項

合併時は現行のとおりとし、平成 19年度までに各団体に交付していた補助金を合体し、補助金交付基準を統一する。

変更内容

平成 22年度までに補助金交付基準を作成し、段階的に統一する。

変更理由

県が統合協議のため、平成 22年度まで猶予期間を設けるなど補助金制度改革案を見直すこととなったため、各商工団体も時間をかけて統合について検討することとなった。市の補助基準作成の期限も、これにあわせて変更するものである。

小規模経営指導事業補助金

協定書記載事項

商工団体の主体的な活動を支援するため、商工会議所・商工会補助金と併せて調整を進め、合併時は現行のとおりとするが、平成 19年度までには内容を精査し、商工会議所・商工会補助金に合算し、廃止する。

変更内容

商工団体の主体的な活動を支援するため、商工会議所・商工会補助金と併せて調整を進め、合併時は現行のとおりとするが、平成 22年度までには内容を精査し、商工会議所・商工会補助金に合算し、廃止する。

変更理由

上記「商工会議所・商工会補助金」の変更理由に同じ

農林関係

補助金等の取扱い

・有害鳥獣駆除対策事業補助金

協定書記載事項

補助金等については、新市において 1年以内に協議会構成団体と調整を図り統一する。

変更内容

捕獲に係る報奨金等については、上田市有害鳥獣駆除対策連絡協議会において協議・調整を図る。

変更理由

駆除協力団体である猟友会は、地区の実情に応じた体制で駆除をし

てきており、猟友会等の理解を得ながら進める必要があるため。

- ・ 農畜産物価格安定対策掛金補助金

協定書記載事項

果樹について、上田市及び丸子町の例により統一する。

変更内容

果樹にかかる価格安定対策掛金補助金は廃止する。

変更理由

国で行っていた果樹価格安定対策制度が平成 18年度をもって廃止されたため。

農業振興事業等の取扱い

- ・ 水田農業構造改革対策事業

協定書記載事項

新市において 1年以内に調整し、統一を図る。

変更内容

平成 19年度から平成 22年度までは各地域に設置する地域水田農業推協議会において実施する。

変更理由

平成 19年度から始まる米の新需給調整システムへの移行に伴い、従来の生産調整方式の急激な変更は、大きな混乱を招く恐れがあり、生産調整の目標達成に支障がでることが予想されるため。

- ・ 水田農業推進委員会

協定書記載事項

地域事情を配慮するうえで組織等の調整をし、統一を図る。

変更内容

旧市町村単位に設置されている地域水田農業推進協議会は平成 22年度まで継続し、その連絡調整組織として「上田市地域水田農業推進協議会連絡協議会」を新たに設置する。

変更理由

上記「水田農業構造改革対策」の変更理由に同じ

(田中会長)

商工課、農林課からそれぞれ説明がありました。質問等ございましたらお願いします。

(委員)

私共はこの件について、どの程度考え何を答えたらいいのか、再度説明をお願いしたい。

例えば有害鳥獣の駆除補助金について意見を述べようとしても、私共は現状を把握で

きていない。これまで猟友会にどの程度補助金が出てどのように使われてきたのか、またどういった活動をされてきたのかなど、活動の経過がわからない状況で我々が答えても、会の皆さんがご苦労されてきた経過、活動の大切さを軽んじた発言しかできない。そういうことで、国の施策がそういうことならそれでいいではないかという結論になってしまうので、我々がこの件についてどの程度考えたらいいのか説明願いたい。

(原沢自治振興課長)

地域自治センター条例第 7 条で「地域協議会の対象地区に係る重要事項の決定又は変更に当たっては、地域協議会の意見を聴くものとする。」と規定している。重要事項については規則第 3 条に規定があり、「合併協定書の合意事項」も重要事項とされている。したがって、合併協定書の合意事項に変更が生じた項目について、意見を聴くものとなっておりますが、すでに一元化した調整済の項目もあることから、今回変更のあった項目について地域協議会へ報告させていただくものである。

(田中会長)

委員さんよろしいですか。

(委員)

わかりました。

(田中会長)

他にご意見等ございますか。

(田中会長)

無いようですので、この件につきましては以上とします。

イ 上田城南地域「地域まちづくり方針」の答申について

(田中会長)

上田城南地域「地域まちづくり方針」の答申について、事務局から説明をお願いします。

資料 2 「第 1 次上田市総合計画地域まちづくり方針一覧」

原沢自治振興課長説明

2月 9日(金) 9地域協議会の各会長から市長へ一斉に答申された。

(田中会長)

この件につきまして、ご質問等ございましたらお願いします。

質問等なし

ウ 会議中の委員名の取り扱いについて

(田中会長)

事務局から説明をお願いします。

(原沢自治振興課長)

会議録の委員名の取り扱いですが、1月18日の地域協議会連絡会議の後、各地域協議会で検討いただいたところであります。真田地域協議会を除いた8地域協議会については委員名を公表していくという結論でございます。

今後連絡会議で調整を考えておりますが、城南地域協議会につきましては前回の協議会で検討し決定いただいたとおり、当面は委員名を公表していくことで、御了承いただきたいと思っております。

(田中会長)

ただいまの説明の中で、ご意見、質問等ございますか。

意見等なし

(2) 上田城南地域における具体的協議事項について

(田中会長)

事務局から説明をお願いします。

(原沢自治振興課長)

総合計画の諮問が終わりまして当面市から検討をお願いする案件等はないので、今後の城南地域協議会の活動について、皆さんでご協議をいただきければと思います。

(田中会長)

今後どのような活動をしていったらいいかということでございます。事前に事務局から記入シートを送付されたところでありますので、各委員さんからご意見をいただきたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。

【記入シートの項目】

- 1 協議会として検討したい事項
- 2 市から説明を受けたい事項
- 3 協議会として調査研究したい事項
- 4 その他

(委員)

項目 1

地域づくりプログラム(案)を作ってみた。これを皆さんと一緒に検討しながら進めていければと思う。プログラムを決定できれば、それにしたがって内容を実行していきたい。

プログラム

小牧・諏訪形、中村・朝日ヶ丘・須川、三好町・御所、中之条・千曲町、上田

原・倉升・神畑、川辺町、下之条・半過、東築地・福田、築地・吉田のエリアごとに、連続でまち歩きを行って地域の資源を発見する。

プログラム

地域の資源の活かし方を考えていく。

プログラム

地域づくりのメニューを整理していく。

プログラム

住民、行政、事業所等の役割分担を明確にする。

プログラム

地域づくりのメニューに優先順位をつけていく。

プログラム

地域づくりを進めるうえで手弁当で対応できないものは事業計画書を作成し、資金の調達方法等を検討する。

項目 2

地域づくりに関する国、県、市の補助事業の概要について説明を受けたい。

項目 3

地域づくりを進めるにあたって、現行の城南地域のエリア設定がいいのか、あるいは城下小学校、南小学校、川辺小学校ごとに学区のエリア設定が適しているのか、地域づくりを経験しながらじっくりと協議したい。

項目 4

委員相互のコミュニケーションを図りたい。地域まちづくり方針の答申案の検討の際 4 つのグループに分かれて議論を進めたが、相手の言いたいことがよくわかり大分コミュニケーションづくりに貢献していると感じたところであるが、そのようなコミュニケーションを図っていききたい。

項目 1 で提案した地域づくりプログラムが実行されれば、自然に委員同士のコミュニケーションが図れるので、進めていければいい。

(委員)

項目 1

地域内の小中学校の連携についてである。学区を超えた連携を図る。防犯の問題とか各校共通の問題を連携しながら解決の方向に進めていければいい。

項目 2

JT 跡地の問題について、市から具体的に今後の方向性をお聞きしたい。

項目 3

かつて南小の屋上でダイオキシンの調査数値が高かったことがありまして、地域内の環境調査を是非進めていききたい。

項目 4

地域内の雇用確保、首都圏の大学を出ても上田に就職がないという状況である。
地域内に優良企業の誘致を進める。

地域内のポイントとなるところを視察して、委員同士の情報の共有化、コミュニケーションを図れば良いと思う。

(委員)

項目 1

地域の特色を探す。地域まちづくり方針答申案の検討時に出てはいたが、もっと具体的に城南地域の特色を探していく。

項目 2

地域まちづくり方針が今後どのように施策等に反映されていくのかお聞きしたい。

項目 3

大小にかかわらず、城南地域と隣接する地域の旧所、名跡を調査して、次世代の子どもたちへ伝えていく。

(委員)

項目 1

城南地域の特色を具体的に出していければ良いと思う。

項目 2

近くにしいのみ園がある。入寮者のほかに、通園してくる重度の身障者の子どもがいるが、何人くらいいるのかお聞きしたい。

JTが跡地がどうなるか説明をお願いしたい。

項目 3

地域医療を重点に置き考えたい。救急車で長野病院へ運ばれたが、そのまま佐久病院へ送られたという話も聞く。

(委員)

項目 1

- ・市は上田原の踏み切りの渋滞対策について、どのように考えているのか。小牧方面から来るとなかなか右折もできない。
- ・R143の歩道の凸凹が多く、自転車での通行が困難である。

項目 2

- ・児童館がどこにあるのか説明をお願いしたい。
- ・別所線の城下駅の踏み切りについては、通行がスムーズにいくよう改良してあるが、子ども達が踏み切りを渡るのに、車の通過を待たないと渡れない状況がある。そのあたりについて、市はどのように考えているのかお聞きしたい。

項目 3

昔は須川湖が凍ったので、歩いて通って下駄スケートをした記憶がある。若い方は須川湖をご存知ない方もいると思うが、須川湖の活用を考えていく。

半過一帯の歴史的な価値を上田市としてもっと活かしていてもいいのではない
かと思う。

(委員)

項目 1

地域まちづくり方針を検討したところであるが、ハードの内容が多く、大きな課題でいつ実現するのかわからないようなものがいくつかある。そこで、皆で話し合えば、できそうなものは何か考えてみた。

近年人間関係の希薄が叫ばれている。ソフト面も重要な課題と受けとめて、その面での活動を取りあげられたらいいと思う。美しい地域づくりを目指して、バイオセンター等で育った草花の苗の配布を行って、花いっぱい運動が進められているが、全市的に浸透している状況とはいえない。城南地域住民の自主自立の取組みによって、地域内に花いっぱい運動のようなものを展開できたら、環境美化を図るのと同時に人と人の心のふれあい、あたたかい地域づくりが図れるのではないか、そのようなことを検討できたらと思う。合意形成は難しいと思うが、時間をかけて皆で検討できたらいいと思う。

以前住民アンケートの結果をいただいたが、その中でどのような地域づくりをしたいかという問いに対し、自然環境との回答が多く、またどんなことが必要かという問いに対し、公園とのオープンスペースを挙げて回答した方が多いという結果であった。

項目 2

今後地域協議会がどのように進んでいくのか。地域内 9地域からいろいろな要望が出されているが、実現困難なものもあるので、状況をもう少し詳しく知りたい。

項目 3

地域の実態を知ることがとにかく大事である。皆で地域内をくまなく歩いて、文化的遺産、自然環境などまず把握に努めることが大事である。城南公民館の場所を知らない方もいる。城南地域に住んでいながら、何がどこにあるのか知らない方がたくさんいらっしゃる。そういうことを知らないと、この城南地域協議会で何を議論するかが見えてこない。そういう部分で、まずそれをやらなければならない。

住民アンケート結果は、細かいことも沢山書かれているが、その詳しい分析も必要かと思う。地域ぐるみのまちづくりを進めるのに何が必要か。

城南公民館を建設して、何をどうするのか。住民が多く集って交流が図れなければ、建設しても意味がない。公民館運営審議委員会との連携も図りながら、内容をしっかり話し合っていくことが重要である。地域づくりを進めるためには、地域内の良好な人間関係が醸成されなければ進まない。

(委員)

項目 1

地域まちづくり方針の中で、景観に対する意識をどうしたらいいかということを検討してみたいと考えている。

項目 2

小中学校のいじめの実態をお聞きしたい。

項目 4

上田市の財政の実態についてお聞きしたい。JT跡地の関係で、合併特例債を適用すると書いてあるが、返済していかなければならないので、その辺のこともお聞きしたい。

(委員)

項目 1、3

城南公民館の建設が最大の課題である。

地域の皆さんのニーズをまず調査する。500から1000人くらいの住民に配布してまず意見を出してもらおう。

項目 2

市の予算の現状について説明していただきたい。

項目 4

総合病院の件であるが、厚生連の話を進めていった場合に、長野病院、市内の病院との問題が起きると思うが、市でどのような取組みをしていっていただけるのか、城南地区の我々の取組みをどうしていったらいいのか。

〔休憩〕

(田中会長)

再開します。続けて発表をお願いします。

(委員)

項目 1

別所線城下駅から神畑駅の乗客増を図るため、各駅に駐輪場を設置したらどうか。駅を利用しようと思っても、自転車を置くところもないし、車を駐車するところもないという状況では、別所線を利用してくれということ自体無理があると思う。電車の発着している時間が、利用者のためのダイヤが組まれ、運行がされているのかということについて我々も見ながら、補助金を出している市としても検討する余地があるのではないかと思う。

項目 2

上田交通に対して多大な補助金が出ている。上田交通にとって必要な補助金なのか、市民にサービスするための補助金なのか、考えて裁量いただく必要がある

と思う。

項目 3

平成 18年 6月おける上田交通の資料をいただいているが、輸送人員が年間 124万人となっているが、一鉄道事業者として満足のいく数字なのかどうか、そのあたりをお聞きしたい。

項目 4

143号線を南北に分けて、南側の地区は電車が走っており、幼稚園、小学校、中学校も揃っている。住宅区域として開発してはどうか。沿線に生活者が多くなれば、乗客人員が増加するものとする。

北側の地区は、千曲川もあるし、歴史的文化的な遺産もあるが、こういうものを活用して充実させていったらどうか。

(委員)

項目 1

上田に気象観測所をつくる。異常気象になってきますと、どのようなことが起きかわからない。これまで自然災害も少なかったが、緻密な情報をいただいて、住民が安心して暮らせることができれば、特に農家の立場からすれば温度、風雨等に神経を使っているの、是非検討したい。

項目 2

福田築地線が開通したが、商業ゾーンということで車の通行が集中している。六中の正門から 300メートル程西側に正門があるが、六中生と川辺小学校の生徒の通学路になっている。先日午後 3時 15分から 15分間車の台数を数えてみたところ、15分間で 75台であった。集落内の道路であるが、ダンプが 5台室賀方面から入ってきた。軽トラとのすれ違いもできないほど狭いため、そこを小さな子供たちが下校していくという状態である。午前 7時から 8時の 1時間は進入禁止となっているが、ほとんど守られておらず、マナーが悪い。市がこの地区をどのような考えで商業ゾーンにしていったのか、そのあたりをお聞きしたい。またこの交通量の多い現場を見ていただきたい。

第一給食センターの前の土地が、同センターの建設時から空いている。泉田保育園の老朽化等で用意した土地かと思うが、長期間そのままになっており、今は某会社の残土置き場となっている。

項目 3

城南地域に住んでいても知らないところが多くある。ポイントとなる場所を実際目で見て回れるような視察の機会をつくっていただきたい。

(委員)

項目 1

子どもの遊び場について検討していきたい。遊具がある遊び場ではなくて、

自然の中で遊べる場所を考えていきたい。

項目 2

いじめ、給食費の未払いについて説明いただきたい。

学校がいじめについて見て見ぬふりをしているところもあるのが実情なので、そういうところも説明いただきたい。

給食費であるが、転校していけばそれで済むという親の気持ちもある。未払い金についてどう考えているのか、お聞きしたい。

項目 3

子供の生活が、学校から帰ってくると塾、休みの日はスポーツクラブと大変忙しい。月曜日から疲れて学校へ出てくるというようなことでいいのかと思う。遊びの中でも自分達が考えた遊びができるような子どもを育てていきたいと思うので、そういった中での遊びに対する大人の考えを研究していきたいと思う。

(委員)

項目 2

城南公民館の用地等について説明いただきたい。

項目 3

道と川の駅について、温泉を掘る調査研究を進めていきたいと思う。

(委員)

項目 1

城南公民館の移転、新築の早期実現のための方策を検討する。

項目 2

城南公民館の移転、新築についての具体的な計画についてお聞きしたい。

項目 3

全委員で地域内の史跡、名所を歩いてみる。また地域内の学校、保育園、幼稚園などの安全性(交通、防犯)について調査する。

項目 4

地球温暖化が問題となっており、ゴミの問題や環境の問題等について関心を持って進めていく。

(委員)

項目 1

城南地域で活動する様々な団体の地域まちづくりに向けたネットワークをつくるための話し合いを進めていきたい。

項目 2

協議会で策定した地域まちづくり方針の実現に向けて、そのために協議会がどのように関わっていけるのか。自治会との関係はどのように位置づけられていくのかについて説明をお願いしたい。

項目 3

城南地域のコミュニティの場として、子育て支援、高齢者の居場所、各種団体の交流の場など、多様な役割を持つ城南公民館の建設とその利活用について参画していければと思っている。

地域を委員同士が把握し活動するための調査を進めていくことができればと思う。

(委員)

項目 1

地域住民が集う望ましい城南公民館のあり方について検討してみたいと思う。

また、地域内の観光、歴史的なものを再発見して地域の活性化につなげていければいいと思う。

項目 2

ふるさと農道（仁古田から六中北側）から築地バイパスへの道路（町小泉、宮島線以外）整備開通計画についてお聞きしたい。車のすれ違いもままならない道路を六中生と川辺小学校の児童が対面交通で歩いており、その間にダンプが入ってくるという現状である。この実情を市としてどのようにお考えになっているか疑問である。回答を是非お願いしたい。

泉田保育園は築 40年になるが、次は泉田保育園を整備するとのことであったが未だ進展がなく残念である。新築移転についてはどのような予定かお聞きしたい。

項目 3

環境汚染対策について、私たちが行動をとれることがあったら実践していきたいと思う。それによって、別所線の利用に結びつけていければと思う。

項目 4

城南地区青少年育成市民会議が 2回ほど開催されたが、その受け皿がどのなのか、参加しても全くわからない。小学生、中学生、高校生を集めて子どもたちの要望や考え方をお聞きしているが、要望されたことについて対処されたのかどうか、参加した者に全く見えてこないし、子どもたちは要望が叶えられないということでは失望するばかりですから、問題提起されたことについて、どこがどういう対処をされるのか、はっきりさせていただいたうえで、育成会議を開催した方がいいと思う。

(委員)

項目 1

まずは協議会と協議会委員のスタンスを意識共有したい。また検討の方法と提言の方法、定義を決めてはどうか。総合計画の答申が終わったところなので、その 2つをどうしても進めたい。

城南地域の地域まちづくり方針の中に、地域防災と地域振興がある。それを受

けて、防災に対する検討、防災拠点の指定がある城南地域なので防災に関わる検討をしていったかどうかと思う。ハード面とソフト面両方について検討してみたい。防災拠点として道と川の駅の整備が予定されているので、ではそこに求められる機能はどのようなものか、環境調査や気象調査が入るのか、その情報の受発信はできるのか、考えていくのもいいと思う。

地域の将来像ということで、カテゴリーを絞り、地域の特色を研鑽しつつ考えていきたい。

項目 2

項目 1 の検討課題が決定した場合、現状と既決の将来構想等の事項を説明願いたい。

項目 3

項目 1 の検討課題が決定した場合、それに対して調査研究を進めていく。

項目 4

地域協議会の会議、意見交換の場はより多くしたり時間を多く持つことがいいと思うが、平日の日中に会議回数を増やすことは難しいと思う。そこで、意見集約の手法を考えてはどうかと思う。例えばメーリングリストをつくって集約すれば、簡素化が図れると思う。手法として新しいものがあれば検討していきたい。

(委員)

項目 1

この地域の人口の変動はどうなるのだろうかという見通しを立てることが大事だと思う。市全体で、平成 35 年度は 12709 人、7.5% パーセントは減少するという見通しである。では城南地域は結果として減るのか、増えるのか。増えるのするならば、どういう対応をしなければならないのか、減ればどういうことをしていかなければならないのか。私はこの地域は唯一増えると見ている。例えば市営住宅、県営住宅の実態はどうか、今後の対応をどうするのか。農家の経営、道と川の駅の整備とその運営はどうするのか。

項目 2

ゴミ処分場、左岸地域総合病院、JT 跡地利活用、県道 77 号・国道 143 号上小 30 分交通構想について市から説明を受けたい。

項目 3

観光産業への当地域の関わり方はどうすべきか。千曲川利活用に向けての発言と関わり方、県営野球場・創造館の現況把握と対応、須川湖地域・周辺里山・築地・半過地域の現況と今後の活用について、調査研究を進める。

項目 4

外国人労働者の受け入れを当城南地域はどう考えるか。800 万といわれる I ターンの受け入れを地域として具体的に考えるか、無関心でいられるのか。皆で議論

したと思う。

(原沢自治振興課長)

協議会としてどういう方向で進めていくのか、本日お出しいただいた意見を事務局でまとめさせていただき送付申し上げますので、次回協議会で検討をお願いしたい。

4 その他

(1) 上田市地域協議会委員合同研修会の開催について

小宮山自治振興課課長補佐から説明

日時：平成 19年 3月 15日(木) 14:00から 16:00

場所：上田創造館文化ホール

講演：「これからの住民自治と協働によるまちづくり」

長野大学 産業社会学部 安井幸次教授

(2) 団体選出委員の変更に係る事務手続きについて

小宮山自治振興課課長補佐から説明

(田中会長)

ただいまの事務局説明の中で、質問等ございましたお願いします。

質問等なし

(田中会長)

本日は以上をもちまして閉会といたします。